別紙No. 1

令和４年度

事業報告書

社会福祉法人もみの木福祉会

社会福祉法人もみの木福祉会

令和４年度事業報告

１．法人の運営

(1)理事会の開催

理事会名および開催日	出席状況	議　題
第 218 回 令和 4 年 6 月 13 日	6 名、監事	第１号議案　令和 3 年度事業報告 第２号議案　令和 3 年度決算報告 --監査報告-- 第３号議案　専決処分 第４号議案　評議員の辞任及び候補者の推薦 第５号議案　業務執行報告
第 219 回 令和 4 年 9 月 27 日	6 名、監事	第１号議案　育児休業等に関する規則の一部改正 第２号議案　介護休業等に関する規則の一部改正 第３号議案　業務執行報告
第 220 回 令和 4 年 12 月 14 日	同意書による決議	第１号議案　専決処分 第２号議案　業務執行報告
第 221 回 令和 5 年 3 月 14 日	5 名、監事	第１号議案　令和5年度事業計画案 第２号議案　令和5年度収支予算案 第３号議案　諸規程の一部改正 第４号議案　業務執行理事の選任 第５号議案　評議員の辞任及び候補者の推薦 第６号議案　業務執行報告

(2)監査の実施

実施者	監査事業及び実施日	指摘及び改善事業
法人監事	法人全体 令和 4 年 6 月 13 日	なし

(3) 評議員選任解任委員会の開催

実施日	実施者	説明者
令和 4 年 6 月 15 日	吉持武平、亀井紀成	足立修栄

(4)評議員会の開催

評議員会名および開催日	出席状況	議　題
第 53 回 令和 4 年 6 月 27 日	同意書による決議	第１号議案　令和 3 年度事業報告 第２号議案　令和 3 年度決算報告 --監査報告-- 報告事項①　評議員の辞任及び新評議員の選任報告
第 54 回 令和 5 年 3 月 30 日	７名	報告事項①　令和5年度事業計画案 報告事項②　令和5年度収支予算案 報告事項③　評議員の辞任及び新評議員の選任報告 報告事項④　業務執行理事の退任及び新業務執行理事の選任報告

２．運営管理の状況

(1)障害者総合支援法等に基づくサービス事業の実施

サービス事業	事業所名	利用定員	常勤職員数	ﾊﾟｰﾄ職員数	延べ利用人数
生活介護事業	もみの木園	60 名	49 名	4 名	17,124 人 前年 16,599
	支援センターのぞみ	20 名	11 名	6 名	4,214 人 前年 4,181

サービス事業	事業所名	利用定員	常勤職員数	ﾊﾟｰﾄ職員数	延べ利用人数
就労継続支援 Ｂ型	もみの木作業所	60 名 40 名※ (R4.10-)	13 名	4 名	12,564 人 前年 14,826
居宅介護 行動援護 重度訪問介護	支援センター のぞみ	ー ー	3 名		285 人 前年 374 930 人 前年 1,075 40 人 前年 19
日中一時支援 移動支援	支援センター のぞみ	ー	1 名		2,855 人 前年 3,272 317 人 前年 380
相談支援	支援センター 和おん	ー	3 名		885 件 前年 838
短期入所		2 名	兼務		709 人 前年 638
入所支援	もみの木園	55 名	生活介護兼務 夜勤 3 名		18,461 人 前年 19,521
短期入所		2 名			241 人 前年 612
共同生活援助	いこい・つどい ひなぎく・よみ あすか・あさがお すばる・かなで さくら・和おん	51 名 内訳 （包括） 38 名 （日中） 13 名	17 名 （包括日中兼務） 夜勤 2 名	4 名 世話人 21 名	17,682 人 前年 17,477 内訳 （包括）13,123 人 （日中） 4,559 人

(2)職員関係

①新規採用者　　１名
②中途退職者　　１名
③中途採用者　　２名
④年度末退職者　２名
⑤パート職員　　採用８名　退職２名

(3)職員研修

サービスの質の向上を図るため、次の主な研修に参加した。

［ＯＦＦＪＴ］

① サービス管理責任者研修（サービス事業における責任者・必配置）
［更新：3 名［既取得：現在 22 名］、実践：2 名、基礎：2 名］

② 虐待防止研修－2 名［権利擁護：1 名、専門：1 名］
③ 強度行動障がい支援者養成研修（基礎・実践）－2 名
④ 相談支援従事者初任者研修－3 名［サビ管向け：2 名、フォローアップ：1 名］
⑤ 障害支援区分認定調査員養成研修－1 名
⑥ グループホーム世話人研修－8 名
その他スキルアップのための研修 4 件（オンライン受講含む）

［ＯＪＴ］

研修名称	実施日	場所	講　師	参加者数
交通安全研修	11 月（2 回） 12 月（4 回）	会議室 ｵﾝﾗｲﾝ	安全運転管理者（森田・近堂）	137 名
虐待防止研修	11/2,6, 12/7	ｵﾝﾗｲﾝ	強度行動障がいへの取組み(支援員:田村)	75 名(延べ)
	12/13,20,1/17,3/22	ｵﾝﾗｲﾝ	身体拘束等について(虐待防止委員:吉田)	56 名(延べ)

※救急救命講習（西部消防局講師）―新型コロナウイルス感染対策のため中止

(4) 支援拠点実績報告

ア　もみの木園
イ　グループホーム
ウ　支援センターのぞみ
エ　もみの木作業所

別紙各部実績報告書のとおり

３．経営管理の状況

①財務状況・・別紙決算書のとおり
②保健・食生活事業報告・・別紙
③整備・修繕実績　（千円）

整備名称	整備費	補助金	付　記
給付費請求ソフトウェア買替	2,860	1,300	リコージャパン㈱鳥取支社米子営業所
ＧＨさくら浄化槽放流ポンプ交換	181		㈲いけまつ環境
支援ｾﾝﾀｰのぞみ職員駐車場整地費用	858		久大建材㈱
もみの木園新築工事設計委託業務	36,300		白兎設計事務所米子事務所(R4.4.5 入札)

④その他

■苦情要望虐待防止委員会［年 12 回開催］ － 別紙報告 －
－年 26 件（前年 34 件）の苦情、要望　⇒各部での検討会実施
－各部署毎のロールプレイ研修等の企画、業務振返りシートの継続

■リスクマネジメント委員会［年 12 回開催］－ 別紙報告 －
－30 年度 196 件　R1 年度 175 件　R2 年度 155 件　R3 年度 184 件　R4 年度 171 件
－ヒヤリハットの検証を各部署・職員へ反映

■ストレスチェックの実施
－対象者 124 人　未提出者 20 人（提出率：83.9%）
－高ストレス者 12 人（産業医面接 2 人・管理者面談 1 人）

４．その他事業

①あいサポートとっとりフォーラム２３の共催

■ＮＰＯ法人あかり広場と共催し、県内の福祉関係者で組織した実行委員会形式で、全国的にも有数な福祉フォーラムを開催

・令和５年１月７日、８日（会場参加での開催）

・米子コンベンションセンター　国際会議室

・参加者：165 名

・衛藤晟一参議院議員、山本ひろし参議院議員

・平井鳥取県知事、伊木米子市長、廣江研こうほうえん会長

・厚生労働省：大島事務次官・辺見障害保健福祉部部長

令和4年度　　年間保健事業報告　　もみの木福祉会

月	保健事業
4	・新年度の指導部個別プログラムの確立
5	・ストレスチェック予定作成　実施開始
6	・職員救急法　（6・7月：実施できていません） ・職員生活習慣病予防健診　（6月～）77名
7	・米子市特定健診等　山口外科実施分（11月までかけて実施）　26名
8	
9	・総合健診　鳥取県保健事業団（2日間）　園利用者：53名　夜勤勤務者健診：40名
10	
11	・インフルエンザ予防接種　職員・利用者　245名
12	・年末年始関連の準備
1	・市健診結果による精密検査
2	・総合健診　鳥取県保健事業団（4日間）利用者：141名　職員　24名
3	・総合健診結果について嘱託医との所見整理と再検査、家族への説明、報告の実施 ・年度末評価と新年度計画 ・新年度保健体制の確立

毎月の事業
- 往診（山口先生２回／月、木下先生１～２回／月、岡田先生１回／月、しみず先生1回／2ヶ月、みやじ歯科　不定期）翌日の処方受け（薬局との調整）
- 歯科受診：歯科センター（毎週木曜午後）みやじ歯科　（適宜）
- 毎月体重チェック
- バイタルサインチェック
- 感染予防
- 検便（保菌　大腸菌）毎月第1週目水～金曜日
- 利用者カンファレンス開催
- 希望者のフットケア実施

H30年度より歯科健診は実施していません。

令和４年度事業報告

管理部食生活課

【特別食】

食事の種類	熱量	塩分	令和２年	令和３年	令和４年
減塩食	１，６００kcal	５g 以下	４０名	３６名	３６名
減量食 （糖尿食含む）	１，２００kcal	７～１０g 以下	１４名	１２名	１２名
透析食	約１，６００kcal	５g 以下	１名	１名	１名
ミキサー食	約１，５００kcal	７g 以下	５名	４名	４名
常食（普通食）	１，８００kcal	７～１０g 以下			

※透析食については塩分制限・蛋白制限・カリウム制限の為、肉・魚・大豆製品・卵は
すべて半量、果物・野菜は加熱が必要（ドライフルーツは禁止）※水分制限あり

【利用者個々に気をつけていること】※普通食の利用者の方全員一口大刻みで提供

年度別	超刻み	刻み	骨とり	揚げ物禁止	アレルギー食品除去
令和２年	９名	２０名	骨なしを使用	４０名	１４名
令和３年	１１名	２５名	骨なしを使用	４２名	１４名
令和４年	８名	２５名	骨なしを使用	３８名	１０名

【一日の平均食数】

施設名	朝食	昼食	夕食	注意事項
もみの木園	５４名	約１００名	５４名	周りの状況にあわせて時間差で提供
もみの木作業所		約５７名		個々に合わせた食事形態での提供
ほっと茶町		約１０名		弁当でも食べやすい食材の提供
グループホーム さくら		７名		嚥下に注意（個々にあわせた刻み）
グループホーム 和おん		６名		嚥下に注意（個々にあわせた刻み・とろみ・お茶ゼリーを使用）
支援センター のぞみ		約３５名		できるだけ温かい食事提供　個々に合わせた食事形態

※全施設衛生管理・異物混入に注意している

＜年間を通しての行事＞

５月：開園記念日会食（昼食をお祝い膳で提供）、

８月：夏祭り（園：昼食を夏祭り風にして提供、アイスクリーム）

★もみの木園・・・男女利用者、魚国、支援員、栄養士で話し合い、和おんは第一金曜日、
さくらは第二金曜日に話し合いをし、献立を掲示・配布。毎週水曜は選択メニュー

★もみの木園食堂、もみの木作業所、年２回害虫の駆除を行っている。

★もみの木作業所・・・職員・栄養士で話し合いをし、第二木曜日は誕生会、第四水曜日は選択メニューをしている。二週に一回献立を掲示・配布
ほっと茶町のお弁当を作って配達している。

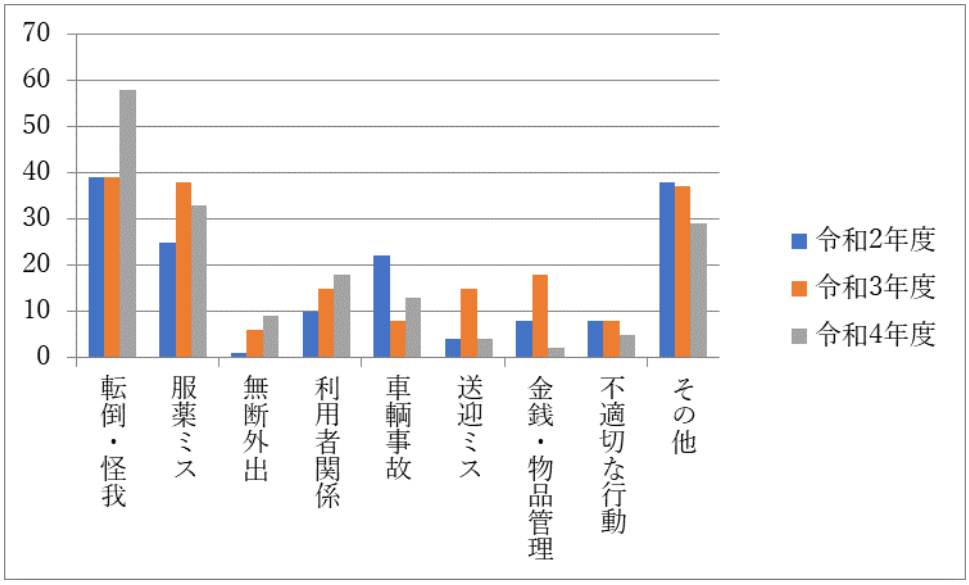
★支援センターのぞみ・・・月曜日～木曜日までは魚国の食事
金曜日はお弁当（作業所自主生産より製造・提供）

令和４年度リスクマネジメントまとめ

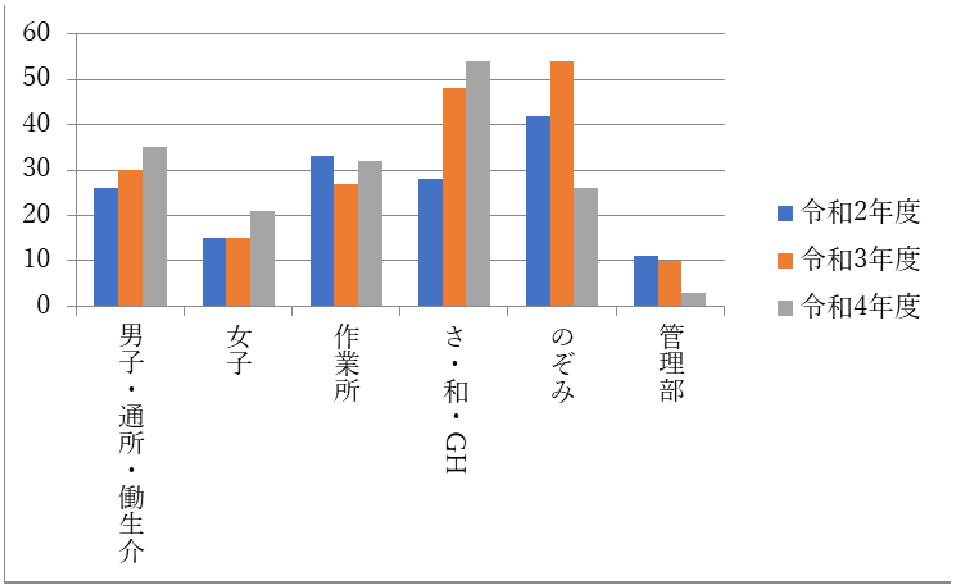
リスクマネジメント委員会として今年度も事故防止強化目標を部署ごとに毎月設定し、リスクマネジメント委員を中心に事故防止の啓発に努めました。目標を決め、各部署でその目標を共有することで職員一人ひとりが意識しながら各業務に取り組まれたと思われます。また、今年度より運転前のアルコールチェックが義務化となりました。引き続き運転前のアルコールチェックをお願いします。

【法人全体】

報告件数：171 件



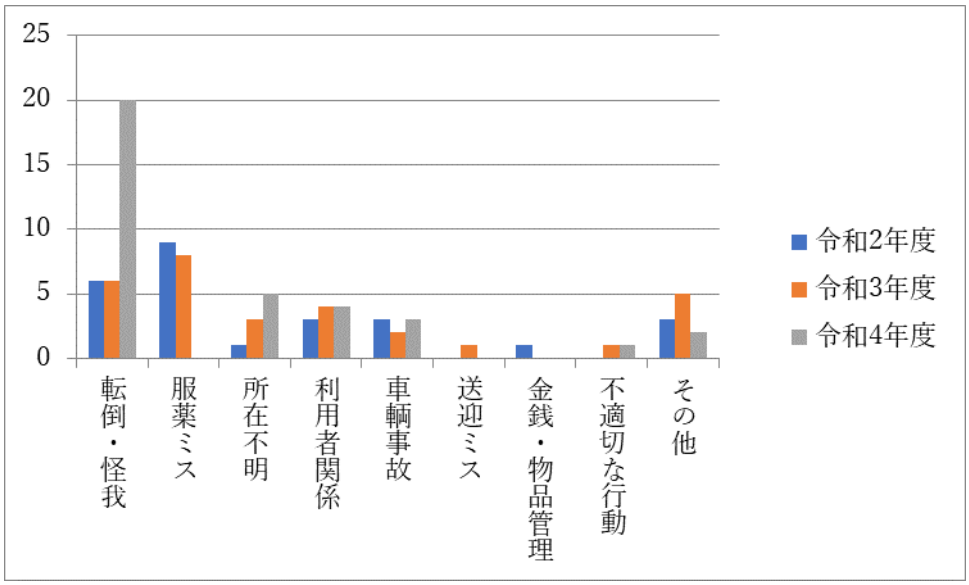
【内訳】



※利用者関係…利用者間トラブル・急変（救急搬送、てんかん発作対応含む）

その他…連絡・確認ミス（移動支援、情報共有）事務処理、食事トラブル、ｾｷｭﾘﾃｨｰの不備）

【男子・通所・働生介】報告件数：　R2 年度　26 件　R3 年度　30 件　R4 年度　35 件



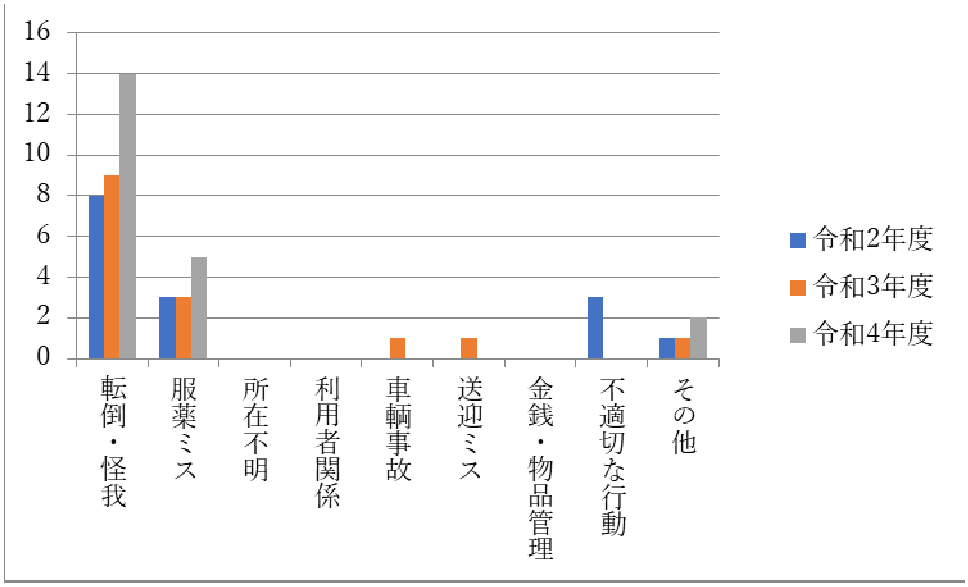
【ポイント】

●転倒…大幅に増加している。早急に見守りの徹底と職員配置の見直しを行う。また、引継ぎ時に利用者の情報共有を行い、防げる事故は防いでいきましょう。

●無断外出…増加している。利用者対応時に職員間の連携を確実に行う

●服薬ミス…服薬ミス 0 を達成。今後も継続をお願いします。

【女子】報告件数：　R2 年度　15 件　R3 年度　15 件　R4 年度　21 件

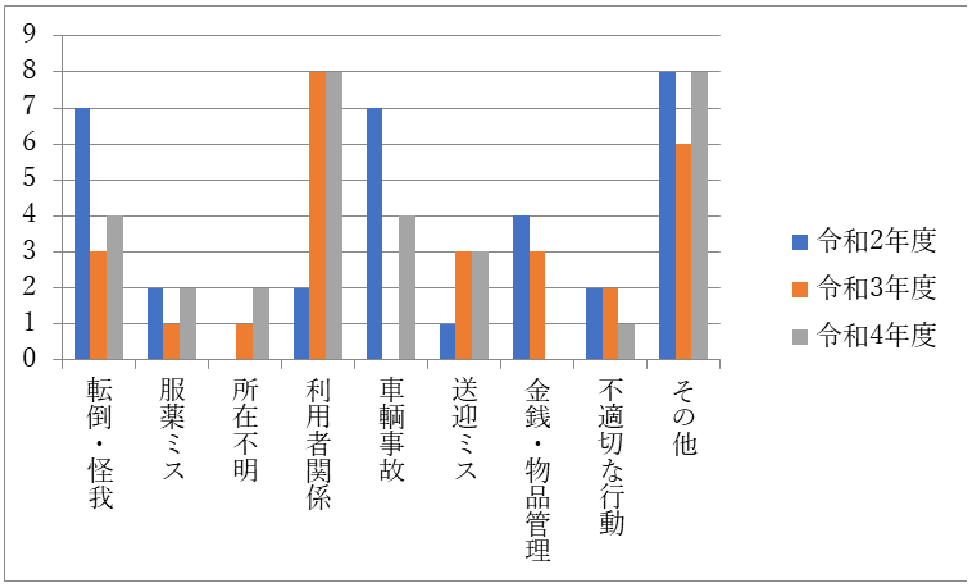


【ポイント】

●転倒・怪我…大幅に増加しており、今後も転倒、怪我の対策を継続して行う必要がある

●服薬ミス…増加している。再度服薬マニュアルの周知徹底をお願いします。

【作業所】報告件数： R2 年度　33 件　R3 年度　27 件　R3 年度　32 件



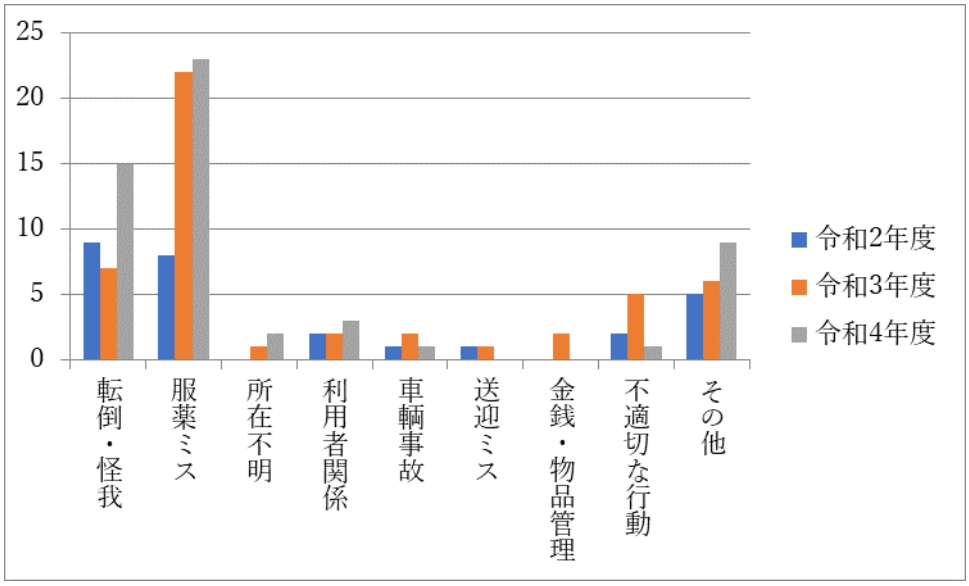
【ポイント】

●利用者関係…自宅、来所時の様子が不調な方の引継ぎ、周知が必要

●車輌事故…今年度増加。もう一度安全運転の徹底をお願いします。

●転倒・怪我…職員、利用者の配置に注意が必要

【さくら・和おん・GH】報告件数： R2 年度　28 件　R3 年度　48 件　R4 年度　54 件

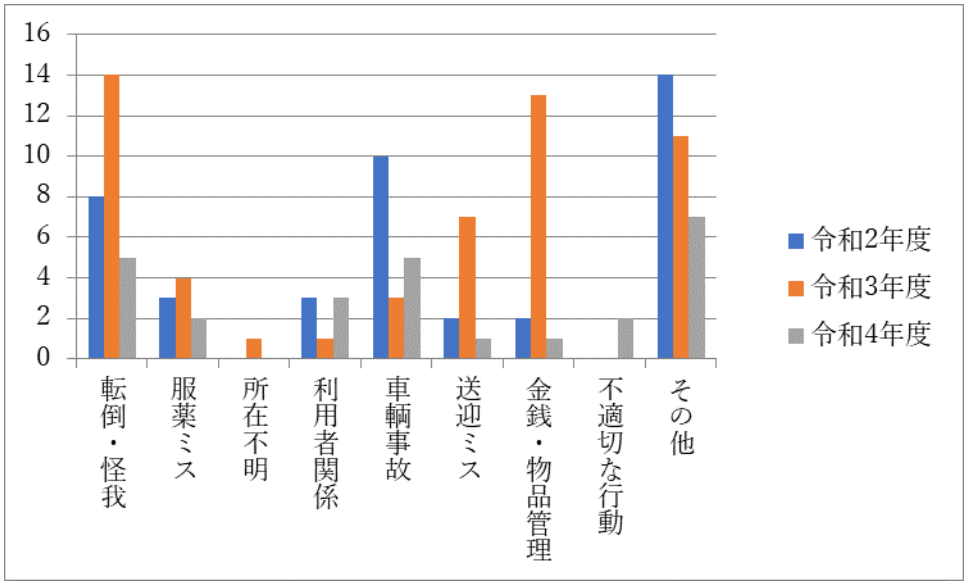


【ポイント】

●服薬ミス…薬の自己管理されている方への対応が課題。また、服薬マニュアルの見直しを含め周知徹底をお願いします。

●転倒・怪我…増加している。転倒の多い利用者の配慮が必要。

【のぞみ】報告件数：　R2 年度　42 件　R3 年度　54 件　R4 年度　26 件



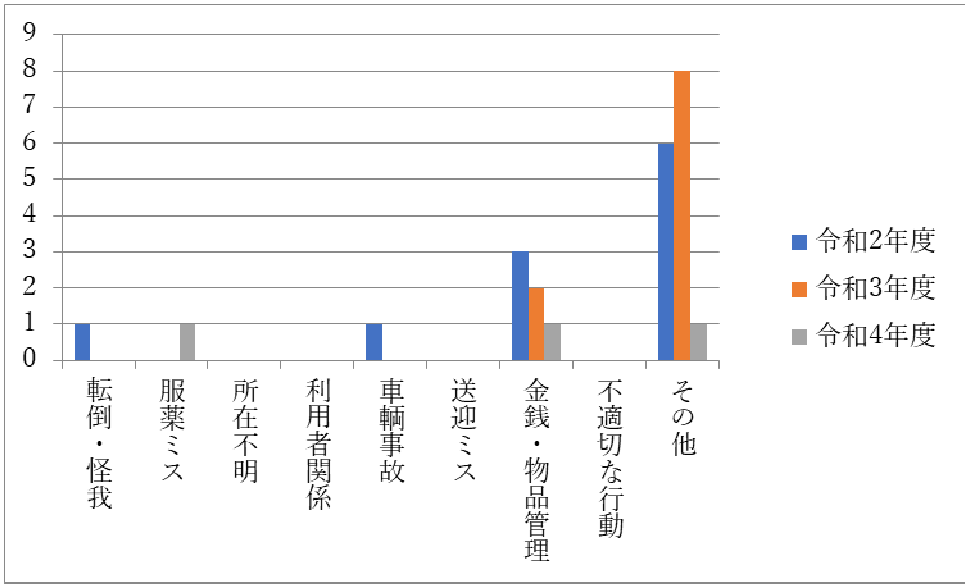
【ポイント】

●転倒・怪我…減少している。今後も減らしていけるよう対策をお願いします。

●車両事故…前年度より増加。もう一度安全運転の徹底をお願いします。

●送迎ミス…減少している。今後も余裕をもった運転を。

【管理部】報告件数：　R2 年度　11 件　R3 年度　10 件　R4 年度　3 件



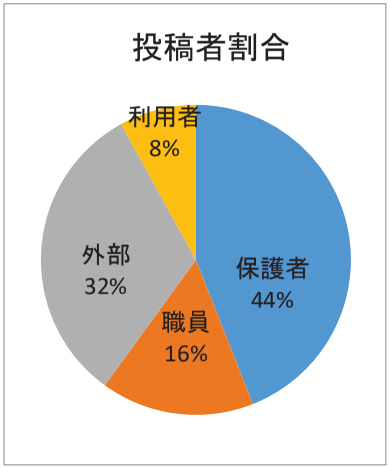
【ポイント】

●金銭管理…減少している。今後も継続を

●その他…食事関連は支援員と魚国と連携を行い、事故を防ぐ

2022年度苦情・要望に関する統計データ

投稿者	件数	前年件数
保護者	11 件	12 件
職員	4 件	10 件
外部	8 件	9 件
利用者	2 件	3 件
計	25 件	34 件



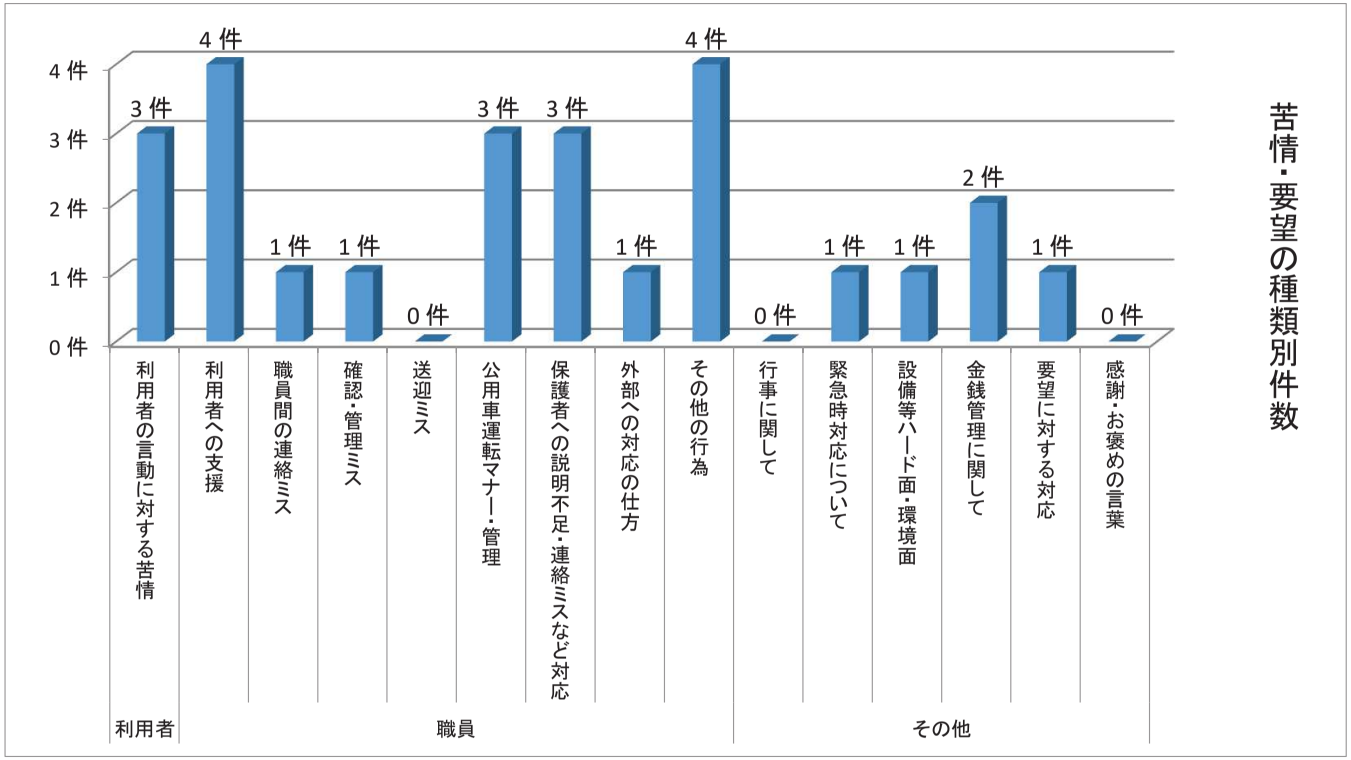
－ 2022年度苦情・要望に関する統計データについて －

寄せられた案件につきましては、苦情要望・虐待防止委員会等の各会議の場で検討を重ね、法人全体へとフィードバックをする事で周知を図っています。

2022年度の集計結果を分析する中で、利用者の方への支援・対応では、利用者の方に寄りそった支援を目指し日々支援にあたっている状況の中で、利用者の方の関りや表現方法といった不適切な支援つながる恐れがある内容が課題としてあげられます。どのように利用者の方の人権を尊重して支援にあたるのか、支援現場として、支援力・現場力向上を福祉会全体で支援に向き合える人材を育成していける環境が必要ではないかと考えます。その為、法人内の研修会等のあり方やPDCAサイクルの視点を用いて、支援に向き合える環境を整える事により、不適切な支援や虐待防止に繋がるのではないかと考えます。

2022年度は、虐待防止研修及び身体拘束適性化の研修が義務化されました。法人内においても職員全体が虐待防止法の理解、身体拘束適性化に向けての取り組みが学べる研修を行っております。しかり、不適切な支援や対応は改善されていない現状にあります。今後、基礎的な法律に対する理解は重要ではありますが、部署内においてロールプレイやディスカッションする機会を設け、支援に対する考え方や関わり方等を職員間で「共有」や「共感」ができ日々の支援に活かして行けるような機会を設ける事が重要であると考えます。

対象者	苦情・要望内容	件数	前年件数
利用者	利用者の言動に対する苦情	3 件	2 件
職員	利用者への支援	4 件	11 件
	職員間の連絡ミス	1 件	0 件
	確認・管理ミス	1 件	0 件
	送迎ミス	0 件	0 件
	公用車運転マナー・管理	3 件	2 件
	保護者への説明不足・連絡ミスなど対応	3 件	3 件
	外部への対応の仕方	1 件	3 件
	その他の行為	4 件	2 件
その他	行事に関して	0 件	0 件
	緊急時対応について	1 件	1 件
	設備等ハード面・環境面	1 件	1 件
	金銭管理に関して	2 件	0 件
	要望に対する対応	1 件	6 件
	感謝・お褒めの言葉	0 件	1 件



令和4年度

事 業 報 告 書

施設入所支援

生活介護

短期入所

社会福祉法人　もみの木福祉会

障がい者支援施設　もみの木園

社会福祉法人　もみの木福祉会　障がい者支援施設【もみの木園】
令和4年度事業報告

提供サービス

事業	定員	利用者数	備考
施設入所支援	55名	年間延18，461人	契約者52名
生活介護（日中支援）	60名	年間延17，124人	契約者76名
短期入所	2名	年間延241人	契約者49名

※具体的な数字については事業別利用状況にてまとめて表示

事業概要

令和4年度は新型コロナウイルスの全国的な感染拡大に伴い、西部圏域においても、保育、教育、介護関係施設でのクラスター発生や当施設職員・家族が接触者・濃厚接触者に認定されるなどにより、年度内通して職員に大きな心理的ストレスを与えました。当施設においても4月中旬から5月中旬にかけてクラスターが発生し、他部署の応援をいただきながらなんとか乗り越えることは出来ましたが、法人全体での事業継続・収入への多大な影響だけではなく、職員・利用者にも大きな心理的ストレス・身体的負担を与えました。

1．安心安全で豊かな施設生活の実現

〇前年度同様、重度・高齢化対策を喫緊の課題として取組みましたが、利用者の身体機能低下スピードが著しく、転倒等による怪我、基礎疾患の重症化が多く見られました。これまでも必要な場所への動線の見直しや支援スキルの向上等により対応を図ってきましたが、老朽化した現施設の環境では限界もあるため、新たな施設整備に向けて「もみの木福祉会建設委員会」を中心に協議を進めています。

〇医療機関、医務との連携により、感染予防、疾病の早期発見に努めましたが、加齢からくる新たな疾病の発症や基礎疾患の重症化等により、男性6名・女性1名の入院、救急対応等がありました。

〇新型コロナウイルス感染症拡大により、日常生活、日中活動において様々な制約を受けましたが、テイクアウトランチ、密を避けての外出、施設内イベントなど支援現場の工夫により、利用者のストレス軽減に努めました。また、他施設利用の方には施設間で感染対策の連携を図り、可能な限り利用が継続できるよう取組みました。

〇ボランティア、実習、視察等の受入れについては、新型コロナウイルス感染症拡大により、地域、事業所においてイベント、交流の中止を余儀なくされ、例年通りの受入れは出来ませんでしたが、改めて有事の際の対応について機関連携の重要性を認識する機会となりました。

2．地域との関係づくり

〇地域との関係づくりにおいてもコロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた1年となりました。社会福祉法人の責務である「公益的な取組」については、アート活動による交流活動は実施できませんでしたが、各種作品展への出品により障がい理解の促進に努めました。

3．人材育成と働きやすい職場づくり

〇コロナウイルス感染症拡大により、各種研修への派遣、自己研鑽の機会の提供につてはリモートでの参加により継続して取組みました。また、働きやすい職場づくりについては、仕事と私生活両面に配慮し、有給休暇取得の勧奨や役職者による面談を実施することで個々の意見を業務に取り入れることができました。

事業別利用状況

【施設入所支援 ： 定員55名】

令和4年4月時点で男性36名、女性18名の合計54名の利用者で事業開始。
・退所（3名）：4月に男性1名(グループホームへ地域移行)、5月に女性1名(介護施設へ移行)、9月に男性の利用者1名が逝去、12月に男性1名（介護施設へ移行）。
・新規受入（2名）：5月に緊急受け入れ対象者の男性1名。10月に女性利用者1名。
・入院者（7名）：男性6名（誤嚥性肺炎・尿路感染・喉詰めによる呼吸困難・左大腿骨頸部骨折・腸閉塞・心機能低下・腎盂腎炎・右足部難治性皮膚潰瘍・悪性リンパ腫）。女性1名(嘔吐・飲食摂取できず）
令和5年3月時点、男性34名、女性18名の合計52名（3名減）。
夜間支援体制 ： 男性職員2名・女性職員1名・看護師3名待機（輪番制）

2023年3月末現	平均年齢	平均障害支援区分	最高齢
男性	55．9歳	5.4	85歳
女性	64．4歳	5.3	86歳

（利用実績）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延利用者数	1,551	1,612	1,557	1,575	1,537	1,495	1,545	1,545	1,581	1,521	1,388	1,554	18,461
												前年度	19,521

【生活介護 ： 定員60名】

契約利用者数：男性50名、女性26名の合計76名（通所部含む）
支援体制 ： サービス管理責任者2名・支援員39名・看護師3名・補助職員3名
職員配置 ： 2：1

（利用実績）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
延利用者数	1,318	1,380	1,461	1,432	1,438	1,381	1,501	1,478	1,504	1,395	1,324	1,512	17,124
												前年度	16,599

活動及び支援内容

8:30 9:00	送迎 準備	通所生活介護利用者送迎、待受け 引継ぎ・バイタルチェック・ホームルーム
9:00 11:30	日中活動	体力作り（歩行・体操）・機能訓練（紙ちぎり・キャップ選別）・農園芸作業 レク活動（DVD鑑賞・音楽）・リハビリ対応・外出支援
11:30 13:30	昼食	食事要支援者介助・見守り
13:30 15:00	日中活動	体力作り（歩行・体操）・機能訓練（紙ちぎり・キャップ選別）・農園芸作業 レク活動（DVD鑑賞・音楽）・リハビリ対応・外出支援
15:00 16:00	入浴	入浴要支援者介助
16:00 16:30	片づけ 送迎	家族への連絡・引継ぎ 通所生活介護利用者送迎
体験旅行		全国的なコロナウイルス感染拡大により中止

【短期入所 ： 定員2名】

相談支援専門員と連携を図り、在宅者の受入れを行う

（利用実績）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延利用者数	35	6	22	6	8	8	24	41	24	24	22	21	241
												前年度	612

サービスの点検と質の向上

【支援者会議等の検討状況】

会議名	開催回数	主な議題等
棟会議（男女）	1回/月	支援内容の点検・修正/活動・生活課題抽出/個別ケア検討
モニタリング会議	10回	個別支援計画作成に係る検討
業務振返り検討会	2回	支援強化目標の設定
ユニット会議	1回/月	日中活動の検討及びユニット間の調整

リスクマネジメント

【事故内容】 （件数）

事案	令和2年度	令和3年度	令和4年度
転倒 ・ 怪我	14	15	34
服薬ミス	12	11	5
利用者間トラブル	3	4	9
車両事故	3	3	3
配慮に欠ける支援	3	1	1

行事・実習・見学・ボランティア受入及び職員研修・会議実績

月	行事・実習・見学・ボランティア受入	職員研修・会議
4	ふれあいアート	新人研修
		県知福協監事会・代議員会
5	ふれあいアート	新人職員研修
6	ふれあいアート	もみの木福祉会監査・理事会
		もみの木福祉会評議員選任解任委員会
7	ふれあいアート	西部自立支援協議会運営委員会
	第4回コロナワクチン65歳以上入所者接種	西部自立支援協議会入所部会
		感染防止対策委員会
		相談支援従事者研修
8	ふれあいアート	消費税インボイス制度を学ぶ研修会
	第4回コロナワクチン64歳以下入所者接種	障がい分野別基礎研修
		米子市人権問題研修会
		虐待防止研修
9	ふれあいアート	サービス管理責任者等基礎研修
	米子市障がい者アート展	福祉会理事会
	入所者・夜勤者健診	西部自立支援協議会コア会議
10	ふれあいアート	西部自立支援協議会災害対策部会
	米子市福祉避難所防災訓練	西部自立支援協議会運営委員会
	夜勤者健診	法人内研修
		強行支援者養成研修実践
		サービス管理責任者更新研修
		西部自立支援協議会権利擁護部会
11	ふれあいアート	法人内交通安全研修
	インフルエンザ予防接種	サービス管理責任者等基礎研修
	県立米子養護学校実習（2名）	法人内強行支援研修
		相談支援現任研修
		米子市障がい者福祉計画等推進委員会
		県知福協施設長会
		強度行動障がい支援者養成研修
		サービス管理責任者等実践研修
		サービス管理責任者等更新研修

月	行事・実習・見学・ボランティア受入	職員研修・会議
12	ふれあいアート	法人内交通安全研修
	第5回コロナワクチン65歳以上入所者接種	相談支援現任研修
	第5回コロナワクチン64歳以下入所者接種	法人内虐待防止研修
		福祉会理事会
		西部自立支援協議会権利擁護部会
		県自立支援協議会地域移行部会
1	ふれあいアート	あいサポートとっとりフォーラム
		新人職員研修
		法人内虐待防止研修
		県知福協施設長会
2	ふれあいアート	西部自立支援協議会正副会長会
	総合健診	西部自立支援協議会権利擁護部会
	もみの木アート展	西部自立支援協議会運営委員会
	避難訓練	
3	ふれあいアート	サービス管理責任者等ファシリテーター研修
		もみの木福祉会理事会・評議委員会
		西部自立支援協議会入所部会
		法人内虐待防止研修
		緊急入所利用調整委員会

令和４年度　地域生活支援部　事業報告

共同生活援助

1. 利用者の状況

1.　入退居状況（定員 51 名：日中サービス支援型 13 名、介護サービス包括型 38 名）

月	現 員	入 居	退 居	異 動 の 状 況
4	48			
5	49	1		50 代男性、介護サービス包括型 GH に入居
6	50	1		40 代女性、日中支援型 GH に入居
1	49		1	70 代女性、大動脈解離により死亡
3	48		1	70 代男性、介護保険施設入所により退居

・令和 5 年 3 月 3 1 日現在　定員 51 名、現員 48 名

・平均年齢　男性　59.4 才、女性　55.6 才　最高齢 80 才

・平均区分　日中サービス支援型　平均区分 4.6　　介護サービス包括型　平均区分 2.9

2.　入退院の状況

・20 代女性　紫斑性腎炎の治療のため入院（11,　1, 2 , 3 月）

・70 代女性　第１２胸椎圧迫骨折により入院（12 月）

・70 代男性　ADL 低下により入院（2 月）

※疾患の多様化、入院の長期化により廃用が進む傾向にある（特に高齢者）。

2. サービス提供状況について

■　事業運営について

日中サービス支援型グループホームは定員 13 名の夜間対応型のホームとして 24 時間職員を配置。定員 2 名の短期入所事業も運営。他、介護サービス包括型グループホームは定員 38 名のグループホームを運営。管理者 2 名、サービス管理責任者 2 名、生活支援員 14 名、世話人 22 名を配置した。

① 保護者及び家族会、後見人等との連携～相談支援、緊急連絡及び支援体制（緊急通報核施設＝GH さくら）

② 各サービス調整機関としての役割～世話人調整、健康管理、食事提供、受診同行、各種研修、夜間巡回支援を実施。

③ 人権への配慮しながら、地域社会との共生を目指した。

④ 地域福祉の推進～相談支援事業所との連携、グループホーム、短期入所サービスの利用促進、見学等の受入れ。

⑤ 日中活動事業所、就労先職員との連携を図り、日中活動、就労の定着に必要な対人関係の調整や相談を行い、地域での関係者との協働により豊かな地域生活となるよう取り組んだ。

⑥ 看護師による巡回、受診調整、同行、健康診断の実施により、良好な健康状態となるよう支援した。

⑦ 新型コロナウィルス感染症対策における取組み（「もみの木福祉会新型コロナウィルス等感染防止事業継続計画」に基づく感染予防対策、ワクチン接種の推奨）

⑧ 「救急搬送時における同意書」により、利用者本人に対する家族の意向を確認。

相談支援事業

相談支援事業は、センター長１名、相談支援専門員３名を配置し法人内外のサービス等利用計画作成、一般相談支援（地域移行支援）と米子市、日吉津村の市町村相談支援（委託相談支援）を実施した。相談内容としては、サービス利用に関することが一番多いが、今年度はコロナに関連する内容（サービスの利用制限、中断の為の利用調整、訪問形態の見直し等）について事業所、利用者との情報共有や検討する機会が多かった。引き続き長期入院や行動障がいのある方の利用調整が進まないという状況は続いている。

また、自立支援協議会、基幹型相談支援センターとの連携のもと、相談支援に係る体制整備、地域課題の問題解決に対応した。

その他、相談支援に関する各種研修の講師を務めるなど鳥取県の人材育成事業にも参画した。

3. 出張、研修参加（共同生活援助・相談支援）

出張・研修名	場所	参加者
相談支援従事者初任者研修	オンライン	講師派遣、実習生受け入れ１名
相談支援従事者現任研修	オンライン	講師派遣
相談支援フォローアップ研修	オンライン	講師派遣、受講１名（遠田）
相談支援専門コース別研修	オンライン	講師派遣
障害支援区分認定調査員研修	オンライン	講師派遣
行動援護従事者養成研修	オンライン	講師派遣
福祉有償運送講習	オンライン	講師派遣
サービス管理責任者初任者研修	オンライン	受講１名、講師派遣１名
サービス管理責任者更新研修	オンライン	受講２名、講師派遣１名
障がい者虐待防止等研修（基礎）	オンライン	受講２名（藤井、柴山）
障がい者虐待防止等研修（専門別）	オンライン	受講１名（松下）
障がい者虐待防止等研修（現場力向上）	オンライン	受講１名（安達）
全国グループホーム等研修会	オンライン	受講１名（藤井）
交通安全講習	法人	全職員
障がい者虐待防止法研修	法人	全職員
福祉サービス苦情解決事業研修会	鳥取市	受講１名（内田）
相談支援専門員協会中国ブロック研修会	オンライン	受講１名（内田）
鳥取県世話人等研修	オンライン	世話人 20 名
地域支援セミナー	オンライン	受講１名（清水）
人と地域とつながる研修会	オンライン	受講１名（長谷川）
要介護高齢知的障害者支援研修会	オンライン	受講１名（浜野）

4. ボランティア・実習生受け入れ状況

団体名	内容	人数
日本福祉大学	相談援助実習（７月～８月　24 日間）	１名
皆成学園	視察（6 月 17 日）	３名

5. 年間行事実績

時　　期	行　　事　　名	備　考
4月	異動辞令交付	
	知福協代議員会	
	中国地区知福協各部会代表者会議	
	合同世話人会議	9名参加
	家族会総会	
	イエローレシート贈呈式	令和3年度分
	米子市一斉清掃	
5月		
6月	家族会グループホーム部会	
	知福協正副会長会議	
7月	自立支援協議会運営委員会・入所部会	
	新型コロナウィルスワクチン接種（65才以上/以下）	
8月	もみの木園夏祭り	
	自立支援協議会入所部会	
9月	知福協施設長会議・正副会長会議	
	夜勤者健診	
	避難訓練	全ホーム
10月	知福協正副会長会議	
	交通安全講習会	
11月	障がい者グループホーム世話人等研修	（オンライン）参加17名
	インフルエンザ予防接種	
	皆成学園圏域ケース連絡会	
	自立支援協議会在宅部会・全員協議会	
	障がい者グループホーム世話人等研修	（オンライン）参加3名
12月	知福協施設長会議	
	新型コロナウィルスワクチン接種（全員）	
	米子市人権同和教育研究集会	
1月	中国地区知福協相談支援部会正副会長会議	
	あいサポートとっとりフォーラム	
	総合健診	
2月	移行支援会議	
	避難訓練	全ホーム
3月	知福協理事会・施設長会議	
	自立支援協議会一般就労部会・住宅問題部会	
	自立支援協議会在宅部会	

■会議実績

理事会・評議員会	管理者
苦情要望虐待防止委員会（毎月）	委員２名
リスクマネジメント委員会（毎月）	委員２名
合同世話人会議	世話人、支援員（年２回の予定→１回のみ開催）
世話人会議（毎月）	世話人、担当支援員
役職別会議（毎月）	管理者・課長・係長主任
個別支援会議（随時）	担当支援員、看護師、栄養士
法人内研修（虐待防止研修、交通安全講習）	全職員
支援センター連絡会	相談支援専門員
相談支援の充実を図る連絡会	相談支援専門員
事例検討会	相談支援専門員

6. 利用実績

□　計画相談請求件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
児童	7	7	6	2	5	6	2	5	1	4	4	5	54
成人	61	69	81	54	74	86	59	68	82	48	64	91	837

■児童:前年度 49 件、今年度 54 件(5 件増)　■成人・前年度 789 件、今年度 837 件(48 件増)

□　認定調査実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
米子	1	2	4	5	4	2	3	6	1	12	8	8	56

■前年度 62 件、今年度 56 件(9 件減)

□　GH 和桜　短期入所

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
36	56	52	35	42	70	82	69	58	58	66	77	709

■前年度 638 件、今年度 709 件(71 件増)

□　グループホーム利用者延べ数　17.654 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日中	334	365	385	402	400	388	399	389	403	389	335	370	4,559
包括	1,059	1,130	1,087	1,121	1,121	1,085	1,129	1,091	1,111	1,080	998	1,111	13,123

■前年度 17,477 名、今年度 17,682 名(205 名増)

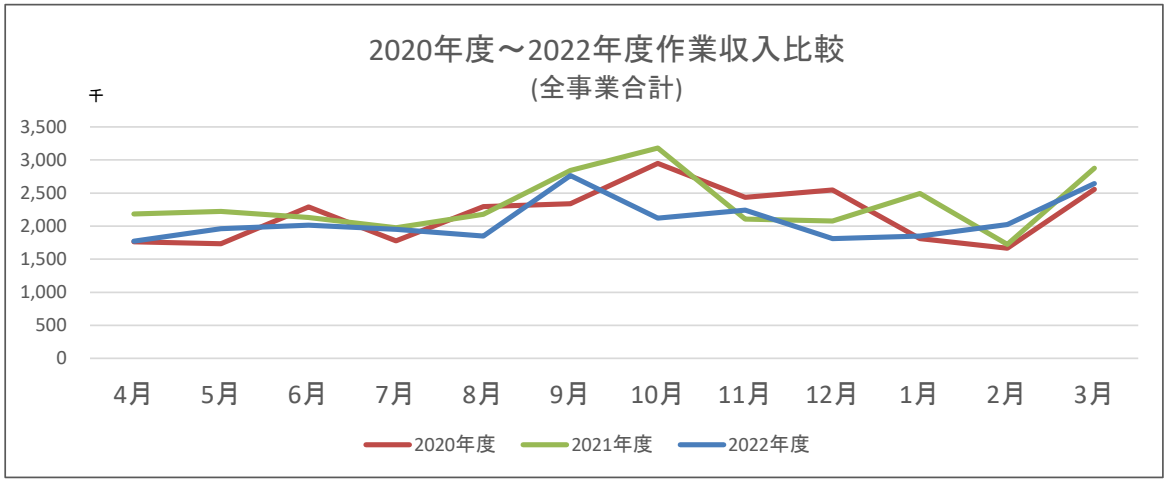
令和4年度　もみの木作業所事業実績報告

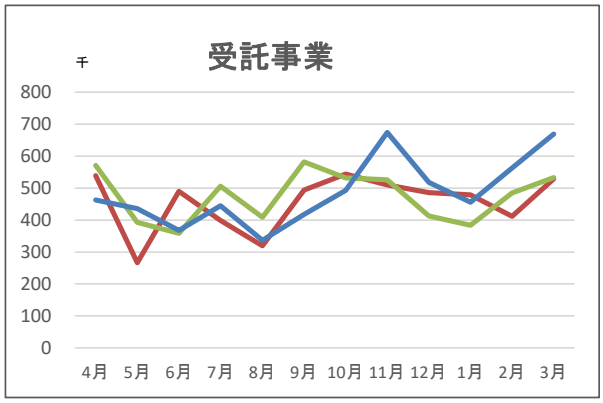
1．事業別実施状況

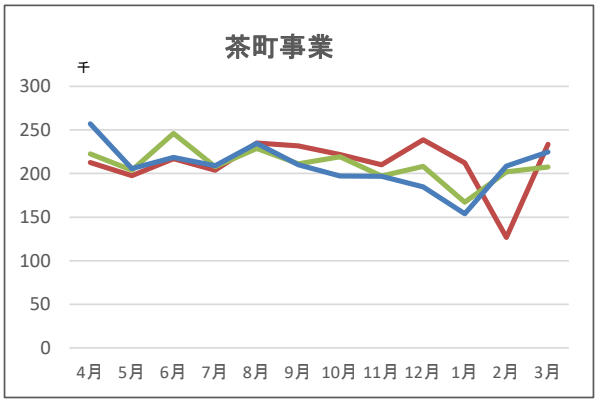
【就労継続支援B型事業】
　令和4年度は、作業所45名、ほっと茶町15名、合計60名定員で取り組み4～9月期においての月平均利用者数は47．7人、10月より40名定員に変更し事業運営を行ってきた。10～3月期における月平均利用者数48．9人であった。
自主生産事業・受託事業・施設外就労事業・清掃・リース事業を中心に取り組み、平均工賃を21,000台円台の工賃程度支払うことができた。
又、今後の作業収入の増加を視野に入れていくために、より収益性の高い事業を行っていくために作業精査を行った。

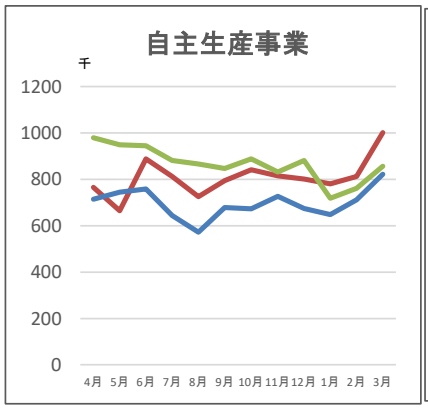
（1）主たる作業科目　　※（）内金額：前年度

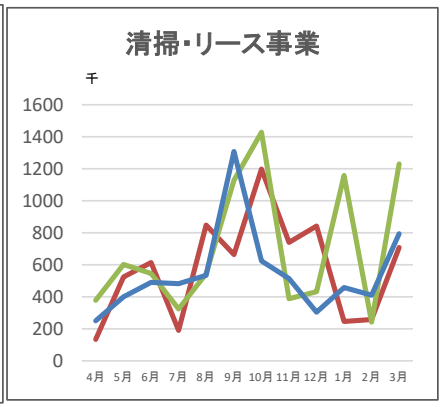
作業科目	相手先	実施期間	内容	2022年度実績
自主生産事業	もみの木作業所（茶町）	4～3月	給食提供	¥8,372,352
	各種バザー販売・ふるさと納税	4～3月	イベント出店（惣菜等）・各会合等弁当販売	（　¥10,406,858　）
受託事業	日宝製本、新日本海新聞	4～3月	入紙、ブックカバー掛け、新聞広告折り	（作）¥5,838,650
	丸福、ワタキューセイモア	4～3月	箱折り、タオル・衣類たたみ	（　¥5,691,243　）
	境港魚函、大海通産、松本油店	4～3月	ミルクパック、かにトレーシール貼り、油注入	（茶）¥2,500,420
	プロポ	4～3月	段ボール穴あけ・糊付け	（　¥2,521,443　）
	PKC	4～3月	野菜洗浄・袋詰め	
	もみの木園食堂清掃・花壇管理	4～3月	午後食堂清掃、水やり・維持管理	計　¥8,339,070
	植田共栄、はしや	4～3月	青汁箱入れ、爪楊枝シール入れ	（　¥8,212,686　）
施設外就労事業	亀井クリーニング	4～9月	タオル・衣類たたみ	
	米子バイオマス発電合同会社	5～3月	清掃	¥1,719,445
	米子市下水道局（境支部）	4～3月	清掃	（　¥973,583　）
清掃・リース事業	心障センター、サンアビリティーズ	4～3月	フロア清掃、窓拭き、トイレ清掃、事務所清掃	
	水鳥公園、フィディア、県・米子市関連 NOK、中海テレビ、個人宅等	4～3月	除草・刈り込み・洗車（1～3月）	¥6,571,741 （　¥8,403,408　）
			作業収入合計	¥25,002,608 （　¥27,996,535　）

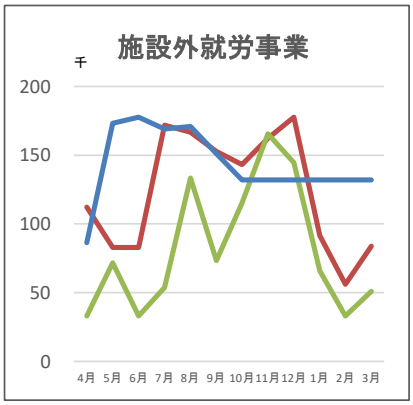












訪問型職場適応援助(ジョブコーチ)事業

2022年度　15件 (2021年度14件)	JR西日本メンテック、まるごう箕蚊屋店、地域でくらす会、JR西日本あいウィル、ミネベアミツミ、解放倉庫 ホック昭和町店、ディオ境港店、介護老人保健施設アイアイ、米吾、美保テクノス、セイノースーパーエキスプレス コメダ珈琲車尾店、松川商事、(株)東洋食品											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訪問回数		10	8	13	6	4	6	9	6	12	11	9	17
請求額	労働局		**¥80,000**										
	支援機構	**¥224,000**		**¥380,000**						**¥432,000**			
(前年度)	労働局	(¥680,000)			(¥232,000)			(¥160,000)			(¥56,000)		
	支援機構			**¥556,000**						**¥360,000**			

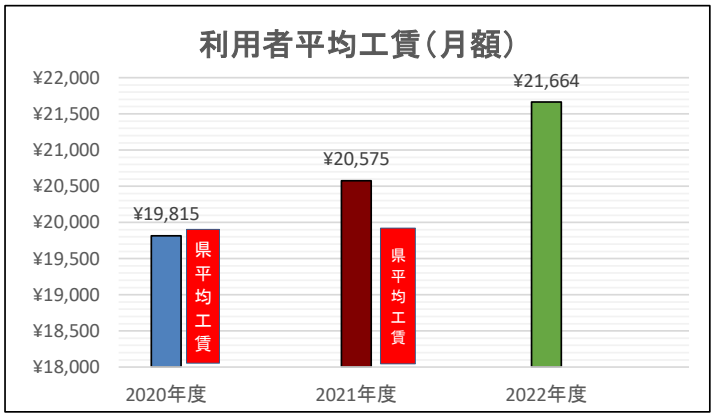
年間実績 (前年度)	**¥1,116,000** (¥2,044,000)	県補助金 (前年度)	￥134,400×10名＝ **¥1,344,000** (￥134,400×10名＝ ¥1,344,000)	**合計**	**¥2,460,000** (¥3,388,000)

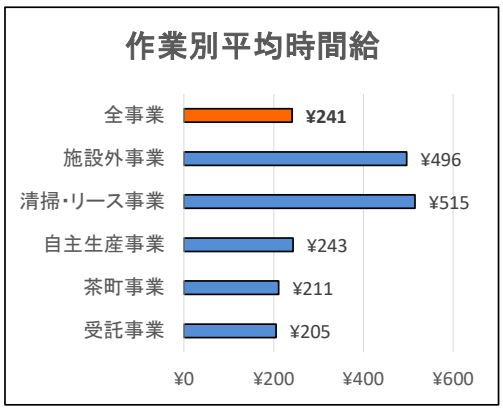
(2)利用者平均工賃(月額)

年度	平均月額	県内平均(参考)	全国平均(参考)
2020年度	¥19,815	19,203円	15,776円
2021年度	¥20,575	19,797円	16,507円
2022年度	¥21,664		

作業別平均時間給

受託事業	¥205
茶町事業	¥211
自主生産事業	¥243
清掃・リース事業	¥515
施設外事業	¥496
全事業	¥241





2022年度利用者増減内訳

【増加】
- ・新卒(養護学校) 2 名
- ・他事業所より 1 名
- ・その他 0 名

【減少】
- ・自己都合 1 名
- ・就労(一般・A型) 0 名
- ・その他(生活介護) 6 名

◎ 新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業等
- ・4/26～5/6事業縮小にて開所
- ・8/16,19,22,23,臨時休業、
  ほっと茶町のみ開所 8/19,22,23
- ・ほっと茶町11/1,2,4臨時休業

2．研修・視察参加実績

月	研修名	場所	参加者
4月	西部自立協就労支援合同部代表者会議	オンライン	大森
〃	知福協代議員会	オンライン	大森・片平
5月	就労支援「人づくり」研修“基礎編”	米子コンベンションセンター	遠藤
〃	教育についての再認識とICTの活用	オンライン	大森
〃	障害者雇用をすすめるための勉強会	オンライン	大森・片平
〃	鳥取県障害者就労事業振興センター定期総会	倉吉合同事務所	大森
〃	地域支援セミナー	オンライン	大森
6月	食品の衛生管理技術研修会【初級編】	オンライン	杉村
〃	食品衛生責任者定期講習会	米子コンベンションセンター	戸田
〃	西部自立協就労支援合同部代表者会議	オンライン	大森
〃	鳥取県職場適応援助者養成研修	米子スマイルホテル	大森・片平・遠藤
〃	西部自立協一般就労部会	オンライン	大森
〃	サービス管理責任者実践研修	米子コンベンションセンター	大森
〃	地域支援セミナー	オンライン	大森
〃	就労支援事業所等障がい者就労支援関係職員研修	オンライン	遠藤
7月	県社福経営協青年部総会	オンライン	片平
〃	西部自立支協運営委員会	オンライン	大森
〃	手をつなぐ育成会スポーツ祭り実行委員会	オンライン	大森
〃	職業準備セミナーテキスト（改訂）検討会	オンライン	大森
〃	相談支援従事者初任者研修	オンライン	森田
〃	中四国地区知的障害者関係職員研究協議会	オンライン	大森
〃	経営協中四国ブロック代表者会議	オンライン	片平
〃	障がい者雇用支援のための制度学習会	オンライン	大森・片平
8月	琴の浦特別支援学校定着支援会議	しゅーと	片平
〃	障害福祉サービス事業所向け会計研修	オンライン	山田
〃	鳥取県地域自立支援協議会【就労支援部会】	オンライン	大森
〃	就労支援基礎研修	倉吉未来中心	森田
9月	地域支援セミナー（講師）	オンライン	大森
〃	工賃向上就労支援事業「人づくり」研修「中級編」	オンライン	森田
〃	サビ管基礎研修	米子コンベンションセンター	大森
〃	安全運転管理者等講習	米子文化ホール	森田
〃	苦情受付担当者研修会	米子コンベンションセンター	川端
〃	西部自立協一般就労部会	オンライン	大森
〃	障がい者雇用事業所連絡会	オンライン	大森
10月	西部自立支協運営委員会	米子市役所	大森
〃	サビ管更新研修	米子コンベンションセンター	大森
〃	就労協制度予算要望	県立福祉人材研修センター	大森
〃	障害福祉サービス従業者研修【共通講義】	オンライン	森田
〃	工賃向上就労支援事業「人づくり」研修「中級編」	オンライン	森田
〃	福祉的就労と日中活動サービスのあり方について	オンライン	杉村
〃	福祉ｻｰﾋﾞｽ苦情解決事業研修会	オンライン	大森
〃	西部自立協就労支援合同部代表者会議	伯耆町役場	大森
11月	サビ管基礎研修	米子コンベンションセンター・オンライン	大森・森田
〃	イオンペット企業説明会	オンライン	片平
〃	鳥取県障害福祉サービス従業者研修【就労分野】	米子コンベンションセンター	大森・森田
〃	知福協令和4年度第1回施設長会	倉吉未来中心	大森
〃	ジョブコーチサポート研修	倉吉未来中心	片平
〃	サビ管実践研修	米子コンベンションセンター	大森
〃	障がい者テレワークセミナー	オンライン	大森
〃	西部自立協全員協議会	米子市立図書館	片平
〃	発達障がいのある人への標準的支援を考える	オンライン	大森
12月	就労支援実践研修【精神障害コース】	倉吉未来中心	森田
〃	知福協保健分科会研修	オンライン	大森
〃	東部地区就労移行ネットワーク会議	オンライン	大森
〃	西部自立協一般就労部会	オンライン	大森
〃	知福協第2回施設長会	伯耆しあわせの郷	大森
〃	職場環境改善研修	オンライン	杉村
1月	あいサポートとっとりフォーラム23	米子コンベンションセンター	大森・片平・田中
〃	とっとり就労支援ワークショップ	オンライン	大森
〃	第12回中国・四国ブロック経営協青年会セミナー	高松国際ホテル	片平
〃	就職準備セミナーテキスト検討会	オンライン	大森
〃	知福協第3回施設長会	エキパル倉吉	大森
〃	鳥取県工賃向上事業「人づくり研修」“管理者編”	オンライン	大森
〃	琴の浦特別支援学校定着支援会議	しゅーと	片平

2月	多職種他機関連携事業から見えてきた連携・協働について	オンライン	大森
〃	西部自立支協運営委員会	米子市役所	大森
〃	県米養移行支援会議	米子養護学校	大森
〃	農福連携促進セミナー	オンライン	片平
〃	福祉教育推進セミナー「支え合いの気持を育む防災学習」	米子文化ホール	森田
〃	障がい者雇用事業所連絡会	オンライン	片平
〃	ジョブコーチスキルアップ研修	倉吉未来中心	片平
〃	食品の衛生管理技術研修会【上級編】	オンライン	杉村
〃	中国・四国ブロック災害支援セミナー	オンライン	片平
〃	ジョブコーチ養成研修企業体験実習	(株)モリタ製作所	遠藤
3月	サビ管ファシリテーター研修	米子コンベンションセンター	大森・片平
〃	西部自立協障がい当事者集まる会	米子市立図書館	大森
〃	琴の浦特別支援学校定着支援会議	琴の浦高等特別支援学校	片平
〃	鳥取県地域自立支援協議会【就労支援部会】	オンライン	大森
〃	就労協第1回理事会	倉吉体育文化会館	大森
〃	西部自立協一般就労部会	オンライン	大森
〃	知福協令和4年度第4回施設長会	倉吉未来中心	大森
〃	就職準備セミナーテキスト活用研修	オンライン	遠藤
〃	サビ管フォローアップ研修	米子コンベンションセンター	大森
〃	境港クルーズ客船環境づくり会議	夢みなとターミナル	川端

3. ボランティア・実習生受入実績

団体名	人数	活動内容
境港総合技術高校	2	介護実習
鳥取短期大学	8	保育実習
鳥取大学	7	精神看護学実習
県米高等部	5	体験実習
崎津小学校	1	体験学習
社会福祉士相談援助実習	1	相談援助実習

4. 各種行事・販売実績

月	行事	備考
5月	学宴祭販売(とっとり花回廊)	職員(食品販売)
8月	ごきげんマルシェwithアスパル	職員(食品販売)
2月	食のみやこグルメ&ノウフクマーケット	職員(食品販売)
※	アザレア法律事務所(随時)	弁当

5. 定例会議等

会議名称	実施月
管理者会議	毎月
課長会議	毎月
係長会議	毎月
苦情要望虐待防止委員会	毎月
リスクマネージメント委員会	毎月
職員会議	毎月
障がいのある方の就労支援をすすめる会	毎月
自治会	毎月
誕生会(クリスマス会)	毎月(12月)
個別支援会議	随時
消火・避難訓練	年2回
各科往診	毎月
給食会議	毎月
法人内研修	年3～5回
交通安全講習・リハビリテーション研修等	年数回

令和4年度　事業報告書

1. 生活介護事業
2. 行動援護
3. 居宅介護
4. 重度訪問介護
5. 地域生活支援事業
6. 研修・会議・行事等

社会福祉法人　もみの木福祉会

支援センター　の　ぞ　み

事業実施概要

支援センターのぞみは、障がいのある方が地域の中で、本人主体の生活が送られるように、「個人の意思の尊重・自己決定」を基本として、関係機関、地域の社会資源、家族等との連携を図りながら、様々なサービスを提供した。また、事業を実施するに当たり、共生社会の実現へ向けて、すべての住民が、安全・安心して心豊かな生活を送られる地域づくりを目的としており、地域住民にとって、重要な役割が果たされるように取り組んだ。

稼働日数												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
28	31	28	26	29	29	31	30	30	29	28	31	350

①生活介護事業	延べ利用者数4，214人(前年4，181人)
提供時間	・平日 〈月曜日～金曜日〉 9:00 ～ 16:00
支援の具体的状況	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた1年でした。利用者、職員が感染し行政、ドクターの指示により6月29日から7月5日の間、事業を中止し事業所を閉鎖いたしました。閉所後も家族に陽性の方が出るなどで利用を控えていただたりと利用者数は減少しました。 支援の内容は感染対策をおこない事業所内での活動となり利用者の皆様はストレスがたまった事と思います。

②行動援護	延べ利用者数930人(前年1，075人)
提供時間	・主に、平日の夕方及び土日祝祭日の余暇支援を担う
支援の具体的状況	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、利用者数が減少しキャンセルも多く出ました。また、職員の感染により利用をお断りすることもケースも多々ありました。

③居宅介護	延べ利用者数285人(前年374人)
○居宅身体介護　○家事援助　○通院介助	
支援の具体的状況	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、利用者数が減少しキャンセルも多く出ました。また、職員の感染により利用をお断りすることもケースも多々ありました。 通院支援については病院によって濃厚接触者、接触者の対応基準が異なり職員が病院に入れないケースがあり対応に苦慮しました。

④重度訪問介護	延べ利用者数40人(前年19人)
○居宅身体介護　○家事援助　○移動介護	
支援の具体的状況	新型コロナウイルス感染症の影響でキャンセルが相次いで発生した。

⑤地域生活支援事業（移動支援・日中一時支援）

提供時間	家族の仕事や用事が終わるまでの時間や家族が一時休息の必要な時間

支援の具体的状況

・移動支援 延べ利用者数（キャンセル数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28(7)	24(3)	31(4)	27(17)	28(12)	27(8)	24(2)	27(1)	24(2)	25(6)	27(1)	25(2)	317
											前年	380

・日中一時支援 延べ利用者数 （前年度数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
242	250	271	175	244	243	255	249	231	175	248	272	2,855
											前年	3,272

研修・会議等

職員会議	毎月１回実施
事業別会議・研修	行動援護研修　１２回　・　居宅介護研修　１２回　・　個別支援会議　適時 支援計画見直し懇談　２回　・とっとりフォーラム　・もみの木福祉会虐待防止研修 サービス管理責任者研修　・　強度行動障がい支援者養成研修　・　相談支援専門研修 県知福協施設長会議　・　県知福協代議委員会　・　障がい者虐待防止研修 日本知福協日中活動支援部会　・　中国地区日中活動支援部会　・　地域支援セミナー
研修講師派遣	在宅強度行動障害支援研修
他事業所とのケア会議	適時実施
ボランティア・実習受入れ	・鳥取県立米子養護学校
自立支援協議会	全員協議会、在宅部会、日中活動部会、地域移行部会

行事・他

のぞみ祭り	コロナウイルス感染拡大により中止
のぞみ作品展	もみの木アート展に合同展示
旅行	コロナウイルス感染拡大により中止
親子レクレーション	コロナウイルス感染拡大により中止
誕生会	毎月開催
成人式	１月２２日実施
往診	4週間に1回　　岡田内科クリニック
健康診断	一般健康診断３月実施　　体重測定　１回／月実施
避難訓練等	１回／年実施　　救命救急法「実技訓練」